

平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学年	3
担当者	青山俊也・西野京子・増田幸司			単位数	4
使用教科書	ELEMENT English Communication Ⅲ(啓林館)				
使用教材	ELEMENT English Communication Ⅲ・ワークブック・予習ノート(啓林館) Evolution Stage 3(文永堂) 文法・語法 口語表現の理解と確認(山口書店) Target 1900(旺文社)・Listening Laboratory(数研出版)				
教科・科目の指導目標	アクティブラーニングを意識した指導・希望進路の実現に向けた学力の向上				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	Lesson 1 A Small Crime Lesson 2 How Can We Save Disappearing Languages?	英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。トピックは次の通り。「壁に落書きをした少年に父が語ったこととは」、「言語の消滅は何が悪い？」	24
6月7月	1学期期末考査	Lesson 4 The Truth about Grit Lesson 5 Praying Hands	内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら教科書の文章を読んで、議論の中心となる「論点」やそれに係わる「根拠」を明確にすることができる。トピックは次の通り。「根性の秘密」「デューラーの祈りの手秘話」	24
7月10月	2学期中間考査	Lesson 7 A Class from Stanford University Lesson 8 The Mpemba Effect	教科書の文章の段落の中で、トピック・センテンスとサポーティング・センテンスの関係を理解し、各段落の役割と文章全体の流れを理解する。トピックは次の通り。「5ドルと2時間で何ができる?」、「沸騰したほうが早く凍る?」	28
10月12月	2学期期末考査	Lesson 9 Darwin and Wallace	専門的な情報(例えば経済・環境・文化などに関するもの)や、統計的なデータ(例えば意識調査や実験結果など)が示されている図表と文章全体におけるその図表の役割を的確に読み取ることができる。トピックは次の通り。「進化論を考えた2人の科学者」	28
12月3月	学年末考査	センター試験を中心とした問題演習	教科書で扱った内容について、既習の語句や表現を応用して、その概要を論理的に英語で相手に伝えることができる。 ・ペアやグループで、多様な捉え方ができる話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見を交換したりして結論を導くとともに、互いの意見の共通点や相違点について、共通認識を得ることができる。	36

評価の観点・方法	小テスト・定期考査・課題・発表
----------	-----------------